



令和7年度「理数探究」成果発表会に参加しました！

令和8年3月13日、希望ヶ丘高校にて「理数探究」成果発表会が開催され、神奈川歯科大学所属の1チームがポスター発表を行いました。以下、探究タイトル、アブストラクト、発表メンバーです。

【探究タイトル】

「口腔再現モデルの考案と飴の溶け方についての実験的研究」

【アブストラクト】

幼少期に、やむを得ず粉末状の薬を飲む場合がある。そこで、子供が薬を摂取しやすくするために、飴を利用することはできないかと考えた。Prin I では、口内モデルを作成し実験を行った。その結果、唾液量と飴の溶解するスピードは関係することがわかった。Prin II では、飴の溶解するスピードをコントロールするため、疎水性物質の含有による効果に着目して、実験を行った。結果を踏まえ、飴の実用化に向けて大きく前進した。

【発表メンバー】

79期1組 小田 悠加さん、3組 芝 奈紬さん、7組 成井 琴子さん、橋本 明さん

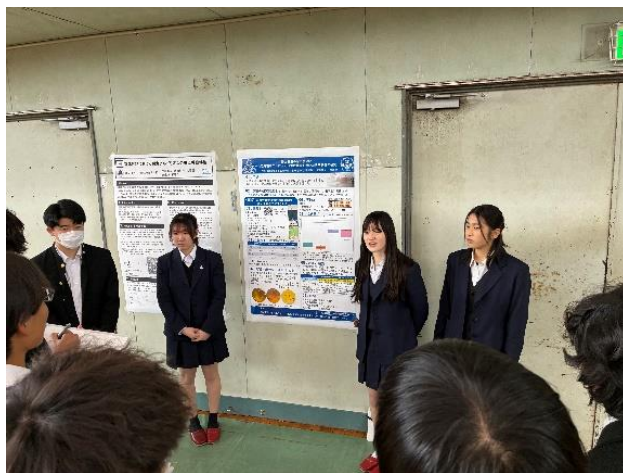
Q: 発表に向けて準備したこと

A: 2年生での活動において、どのような目的のもとで実験し、そこから何を得られたのかをより抽象化する事、また、1年生での活動との繋がりを明確にして一貫性のある研究であることを示せるように努めた事。

Q: 参加した感想

他校に赴いたということもあり、より新鮮さを感じました。特に各チームごとに発表を聞きに行くグループが決まっていることが印象的でした。自らが研究したい分野を深掘りしていく点に於いては共通していたのかなと思いました。

79期7組 橋本 明



Q: 他校の発表を聞いて

A: 他校の多くのグループで、結果の分析にT検定などの統計を用いていたのが印象に残っています。統計処理は結果の有意性を裏付けて、次の研究を検討するのに役立つ手段となるので、積極的に利用すべきだと思います。

79期7組 成井 琴子



Q: 会場の様子

A: 体育館の広さやポスターの掲示の仕方は自校と似ていて親近感がありましたが、他校の生徒も大勢いて非常に賑やかでした。一つの発表に人だかりができる場所もあり、その活気と積極的な質問に圧倒されました。

79期1組 小田 悠加

Q: 後輩へ一言

A: 私はこの2年間を通して、一緒に研究してきたメンバーとたくさん話し合う大事さを知りました。よく考えて、意見を交換し合っておもしろい研究をしてほしいです。

79期3組 芝 奈紬

実際に使用したポスターはAB棟間東側2階廊下に掲示しています。ぜひご覧ください！